

「大阪都」構想の
ホント
まるわかり
パンフ



大阪市をこわすのではなく
「オール大阪」
庶民の力で
よりよい大阪に

「住民投票」が始まりました。でも、これは「大阪都」を決めるものではなく、「大阪市」をなくすかどうかだけを決めること、ご存じですか？「橋下さんの説明を聞いても、よおわからん?」——そんなみなさんに、ぜひ読んでいただきたいのです。

住民投票って

- 大阪市内の有権者を対象に、5月17日(日)投票で実施されます。「期日前投票」は午前8時30分から午後8時まで、各区役所などでできます。
- 投票用紙に「賛成」「反対」を書くやり方です。投票率にかかわらず、「賛成」が「反対」を1票でも上回れば、2017年4月1日から「大阪市」が

廃止されることになります。

- 「大阪市がなくなるのはイヤ」という方はもちろん、少しでも「疑問がある」という方は、投票へ行き、「反対」と書いて下さい。

「棄権は危険」——投票を棄権すると「賛成」と同じ意味になります。



よみがえれ
大阪

「大阪市をよくする会」機関紙 2015年 4月29日 第387号
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6356-2047 FAX (06) 6357-5303
HP : <http://yokusurukai.com> Mail : yokusurukai@nifty.com

大阪市をよくする会

検索

大阪市をよくする会の見解をお知らせします。
大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、陣連協、大生連、大借連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。



「都」構想反対!
青年パレード

橋下市長による「都」構想を許さず、くらしと福祉、医療、中小企業をささえ、豊かな大阪をつくる世論と運動、共同が大きく広がっています。

愛する大阪市つぶしたくない
ひろがる「都」構想ノーの声



住之江区医師会の
「都」構想反対ポスター

医師会、振興会、商店会……

橋下市長による「住吉市民病院の廃止」に地元の住之江区医師会は「地域の繁栄をも奪う不毛の構想」と批判。「都」構想に反対を決議しています。

自治会組織「地域振興会」や商店会でつくる「市商店会総連盟」は、「住民サービスが低下する」「愛する大阪市つぶしたくない」として反対運動をすすめています。

「府民のちから2015」「民意の声」「大阪市がなくなるで! えらいこっちゃの会」など市民の協力・共同の輪が広がり、市議会の自民、公明、民主、共産の4党は「都」構想に反対する意見を共同でだしています。

大阪市の大きな財源を生かし **ぬくもりとにぎわいある大阪へ**

- ① **カジノやリニアはアカン! 「くらし第一」の府と市を**
大企業優先の大型開発ではなく、福祉や医療の充実など「くらし第一」、大阪経済の主役である中小企業を支える市政に変えましょう。
- ② **「何でも民営化」NO! 安心・安全な大阪を**
「何でも民営化」ではなく、自治体としての役割を発揮して、医療・介護・福祉の充実、災害に強いまちづくりへ、安心・安全な大阪をつくりましょう。
- ③ **市長の独裁と暴走ストップ! 市民の声が届く大阪市を**
大阪市議会をなくし、くらしもこわし、住民の声が届かない独裁・強権はもうゴメンです。今こそ「住民が主人公」の大阪市に転換させましょう。

「大阪市をバラバラにはしません」と言いながら

↓大阪市も24区もなくなる

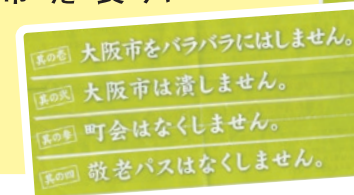


- 5つの「特別区」庁舎**
- 北 区** 現大阪市役所本庁
 - 湾岸区** 現港区役所 (面積が不足するのでATCビルに)
 - 東 区** 現城東区役所 (面積が不足するので新庁舎建設)
 - 南 区** 現阿倍野区役所 (面積が不足するので新庁舎建設)
 - 中央区** 現西成区役所 (面積が不足するので新庁舎建設)

「大阪市をバラバラにしません」と市長選挙で公約していた橋下市長が、大阪市を廃止し、5つに分割する「都」構想に突進。126年の歴史ある大阪市をなくし、市民が築いてきた財産も、財源も府(都)に吸い上げようとしています。

区役所は窓口だけの「支所」になり、防災や地域振興は遠くの「特別区庁舎」の仕事となります。

維新のビラ



「大阪市民はぜいたく」と言って

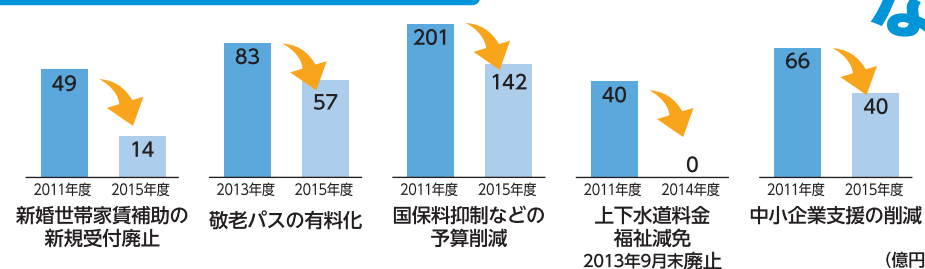
↓くらし切り捨て カジノなどもムダな大型開発に

橋下市長は「保健・医療・福祉・教育を充実させます!!」と公約していましたが、市長になると市民向け施策を「ぜいたく」と言って切り捨て(下表)。削ったお金を「僕は寝ても覚めても港湾、空港、高速道路を考えている(橋下氏)」として大型開発に投入しようとしています。

「特別区」になると

- 国保料は一人あたり年間2万3千円の値上げに
- 介護保険の減免制度がなくなりさらに負担増に
- 老人福祉センターの削減
- プールの削減
- 子育てプラザの削減

橋下市政で次々削られたくらしの予算



「職員は市民に命令する立場」と言っ

↓一人の「指揮官」でやりたい放題

橋下市長は、「職員は市民に命令する立場」と言い、憲法違反の思想調査や公募校長の押しつけなど、民主主義破壊と教育への介入を続けてきました。

いま、大阪市の財源を「むしり取り」(橋下氏、市議会をなくし、一人の「指揮官」でカジノなどに集中投資する体制)「都」構想をすすめています。

「カジノは『大阪都』の『試金石』」

(橋下市長)

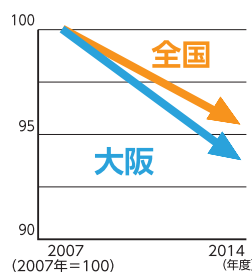
総額1兆5000億円にもなる大型開発計画(一部)

事業内容	概算事業費
地下鉄「なにわ筋線」 大阪から関空まで5分の短縮	約2500億円
高速道路・淀川左岸線延伸部 人口と交通量が減る中での整備計画	約3000億円～4000億円

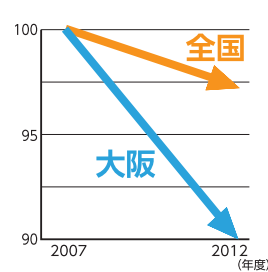
維新府・市政7年間
どこより
落ち込む
大阪経済

「府知事、大阪市長をした経験から経済成長のためには『都』構想」と言う橋下氏。ところがどこよりも落ち込みが激しいのが維新府政・市政の7年間です。バラ色宣伝で市民に幻想をふりまきますが、その破たんぶりがあらわです。

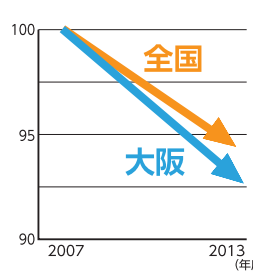
雇用者報酬の推移



家計消費支出の推移



府内総生産の推移



税金つかって大阪市廃止・解体なんて

住民投票へ、「維新の党は、『広報予算に4億～5億円を見込み、多くは…政党交付金をつぎ込む』」と報道されています。政党交付金といえば、もとは国民の税金です。

また、橋下市長は、市の「住民説明会」を「僕の説明会だ」と言い、橋下氏の一方的説明を載せた広報誌などに税金を2億円も使っています。

維新だけで決め一度、否決されたもののなのに…

住民投票に付されている「大阪市廃止・解体」構想の原型は、維新以外の委員を排除して作ったもの。もちろん区割りも含めて市民にはいっさい相談はありません。

市議会・府議会で、昨秋、一度は否決されました。それを東京の官邸頼みでよみがえらせたのです。背景に憲法改悪の思惑があり、マスコミからも「政治的取引の材料にするのであれば認められない」などの批判が噴出しました。

Q&A

橋下市長が語らない「都」構想の真実

Q1 「大阪都」にならないって？



そうです。

A 大阪府は大阪府のまま、「都」にはなりません！

5月17日の住民投票で賛成が1票でも多いと2年後の大阪市解体が決定します。一方、大阪府は「府」のままです。「都」になるには、府全域の「住民投票」か、国会での「法改正」が必要です。結局、「都」構想は、大阪市をなくす「廃止、解体」構想です。

Q2 二重行政のムダを解消すれば、17年間で2700億円が生まれるって…？



ウソです。

A 市資料では「1億円」です。

橋下市長は、二重行政のムダをなくせば「住民サービス」にお金を使える。「17年間で2700億円」生み出せると宣伝しています。ウソです。「法定協議会」に市が出した資料では効果額はわずか1億円です。

橋下市長の言う2700億円の出所は、市民サービスの切り捨てと、地下鉄・市バスやゴミ収集の民間企業への売り飛ばし（2206億円）、病院の廃止、そして市有地の売却代（280億円）などを積み上げただけのものです。二重行政とは無関係です。

オカシイ！



市民に親しまれ、役に立つ施設——ムダでないのに、「二重行政」と目の敵に！

障がい者交流促進センター	福祉	障がい者スポーツセンター
府立急性期・総合医療センター	医療	住吉市民病院
府立公衆衛生研究所	保健・環境	市立環境科学研究所
府立中央図書館	文化	市立中央図書館
府立体育会館	スポーツ	市立中央体育館
ドーンセンター	男女共同参画	クレオ大阪
マイドーム大阪	中小企業支援	産業創造館
府立大学	大学	市立大学

大阪府

大阪市

橋下市長が二重行政のムダとしてあげているのが大学や病院、図書館、産業振興などです。いずれもくらしと経営をよくするためのもので、ムダではありません。二重、三重にやることこそ求められています。

福祉・医療、雇用・産業振興は二重、三重にやっこそ

旧WTCビルとりんくうゲートタワービルは、80〜90年代にゼネコン奉仕でつくったもので、二重行政のせいではありません。今、維新所属の議員らも推進してきたものです。

二重行政

「今は、ない」こと認めた橋下市長

住民説明会で、二重行政のムダと宣伝されている「WTCビルなどは政策の失敗では？」との質問が出ました。これに、橋下市長は「過去の政策の失敗。おっしゃる通りです」と認めました。そして、「今後、ないようにするために」都構想と言っている。「今後」ってことは、「今はない」ということです。

「間違い」の根本にメス入れてこそ 橋下市長が認めたWTCビルなどの「政策の失敗」。この間違いにメスを入れないと、「都」でも「特別区」でも、再び失敗します。橋下市長は、そこには一言もふれていません。「二重行政のムダ」とすりかえているのです。

大阪のええとこ

通天閣

大阪のシンボル、「天に通じる高い建物」との意味で「通天閣」と命名。現在は2代目、頂上のネオンは、色の組み合わせで天気予報に。地元新世界の串カツは観光客で商売繁盛。



Q3 「都」構想で大阪が発展する？

カジノと

A ムダな大型開発が「成長戦略」？!

橋下市長は『都』構想で世界と勝負できる大阪になる』と言います。しかし、そんなことは「協定書」のどこにも書かれていません。それどころか、「勝負」の決め手は「カジノ（IR）」と言っています。そのために夢洲への鉄道などムダなインフラ整備まで計画しています。橋下市長は、「国際バクチ都市・大阪」にすることが「大阪都」の「試金石」だと言いますが、かつての失敗のくりかえし、破たんへの道です。



大阪の成長の決め手は

大阪の経済のゆきづまりは、庶民の給料があがらないこと、中小企業の苦境が根本原因です。打開策は「しくみ」を壊すことではなく、ここにメスを入れ、打開する政治の中身の転換です。

Q4 住民サービスは良くなる？

A ぐらしをささえられない「特別区」



橋下市長は、「特別区」になれば「住民サービスはよくなる」といいますが、その保障はありません。第一、いまの大阪市にはいる税収が、「特別区」になれば4分の1になってしまい、あとは「大阪府」が「むしり取る」（橋下氏）のです。そのお金を「特別区民」のために使うかどうか、「協定書」にはどこにも明記されていません。

また、国民健康保険、介護保険、ごみ、水道などは「特別区」では担えず、もう一つの役所（部事務組合）をつくってすすめるといいます。そうなればこれまで大阪市が国保料の負担軽減のためにだしていた予算がなくなり、1人あたり国保料は2万円以上アップされる危険があります。財源も、権限も、「特別区」はまともな自治体とはいえません。



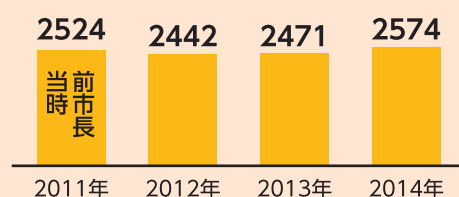
大阪のええところ 天神橋筋商店街

日本一長い商店街。江戸時代に日本の物流で主要な役割を果たした「天満青物市場」を中心として発達した。天満宮への参詣や天満天神繁昌亭のお客で賑わう。

若者泣かせの橋下市長

橋下市長は、「新婚世帯家賃補助廃止」「幼稚園保育料の大幅引き上げ」などを強行しています。しかも、子ども・教育予算は、ほとんど横ばい（下図）なのに「（前市長の）教育費の5倍、6倍にした」とウソの宣伝をしています。

子ども青少年費・教育費は横ばい(億円)



大阪市を「壊す」のではなく、「改革」してこそ

地下鉄・市バスの「敬老パス」は大阪市という政令市がもつ大きな財源があつてのもの。「大阪市」を「壊す」のではなく、「住民福祉の増進」という法律とおりの仕事をする市政に「改革」してこそ、市民のための施策ができます。

売り飛ばすと言っている地下鉄の黒字3百億円を有効に使えば……

橋下市長が売り飛ばすと言っている地下鉄は年間3百億円の黒字。改悪された敬老パスを元に戻すための必要額36億円の9倍、国保料1世帯1万円を値下げするための必要額73億円の4.6倍にもなります。